

**議員** 各園のお散歩マップが、一定水準の内容となっているか市が確認することにも指導してはどうか。

**子ども政策部調整担当部長** 現在、園庭を持たない園等が通行する道路の危険箇所を確認している。お散歩マップに反映することが重要



三鷹駅前保育園のお散歩マップ

と考へ今後指導していく。

**議員** 保育施設全園に警察からのヒヤリ・ハット事案や周辺の事故情報を提供し周知を図ってはどうか。

**子ども政策部調整担当部長** 情報共有と安全性の向上は大切なこと考へる。園長会や連絡会等で情報共有を図っていく。

**議員** 保育の質の確保等には職員の定着が重要だ。市内の保育施設における正規・非正規職員の人数を伺う。

**子ども政策部調整担当部長** 私立認可保育園等における職員数は、26園で正規職員が90人、非正規職員が48人となっている。

**〈その他の質問〉** 交通不便解消について



日本共産党 栗原けんじ 議員

**全ての児童・生徒が滞りなく学習できる環境を**



**議員** 本市の小・中学校においてはICTを活用した授業に力を入れているものと認識する。全ての児童・生徒が滞りなくICTを活用した授業を受けられるような環境は保障されているか所見を伺う。

**教育部長** 平成30年の教育ネットワークシステムの更新に当たり、普通教室、特別教室におけるICT環境の整備を行った。機器が故障した際には保守契約により対応し、修理中は予備機の配置を行っている。

**議員** 各小・中学校から寄せられる備品及び学習環境への要望について伺う。

**教育部長** 老朽化した備品の入れ替え、ICT環境の

充実、新学習指導要領を踏まえた教材の購入、教員負担を軽減するための人的措置の拡充等が挙げられる。

**議員** 各小・中学校における学習環境の改善は進んでいるのか。また、学習環境を改善するための予算は十分に確保されているか。

**教育部長** 学習環境の改善については限られた予算の中で優先度を見極めながら適切に対応する。また、学校の教職員を支援する人材の配置を拡充するなど、各学校が特色ある教育活動や今日的課題の解決に向けた取り組みが行えるよう環境整備を進めていく。

**〈その他の質問〉** 市民に信頼される選挙管理について

**補聴器購入助成等 高齢者施策の拡充を**



いのちが大事 嶋崎 英治 議員



**議員** 高齢者になると多くの人が高齢期難聴や加齢性難聴となる。本市における実態把握の現状等について伺う。

**市長** 高齢期難聴者等の実態等は把握していない。介護予防や居場所づくりに取り組む中で、高齢者の状態について把握していく。

**議員** 2018年度末現在、都内9区には補聴器購入助成金制度があるが多摩地区にはない。本市における当該事業の実施について所見を伺う。

**市長** 他市区の状況を踏まえつつ、本市の財政状況を勘案し検討していく。

**議員** 昨年2月から三鷹駅

周辺地域包括支援センターで試行されている見守りキーホルダー制度の仕組みと効果について伺う。

**健康福祉部調整担当部長** 住所氏名等を支援センターに登録し、登録番号が記載されたキーホルダーを対象者が所持する仕組みだ。当該制度により、遠方の駅員と支援センター職員が連携し本人の無事な帰宅につながったケースがある。

**議員** 駅前周辺地区以外でも見守りキーホルダー制度に取り組んでどうか。

**健康福祉部調整担当部長** 普及及び活用状況を踏まえて、他の地区への取り組みを検討していく。

**市立特養どんぐり山の存続で 市民ニーズに対応を**



いのちが大事 伊沢けい子 議員



**議員** 困窮する高齢者等のセーフティネットでもある市立特別養護老人ホームどんぐり山のニーズは、今後高齢者が増える中で、更に高まるのではないかと考へる。

**市長** どんぐり山は廃止が決定している。今後建設される施設等と連携を深め、高齢者が安心して暮らせるよう取り組みを進める。

**議員** 低料金で入所できる多床至型のみ申し込みをしている特養特機者は約90名いる。ユニット型の特養を増設しても、待機者は解

消されないのではないかと考へる。

**健康福祉部調整担当部長** 全体として入所先とベッド数が増加することになるため、市民の選択肢の拡充につながる考へている。

**議員** 本市は長年にわたり道路の草取りや清掃業務を三鷹自由労働者組合等に委託し、高齢者や失業者等の自立支援に貢献してきた。本事業の評価を伺う。

**市長** 自立支援事業のシンボルのようにも感じている。今後も自立支援に関わる取り組みに対する貢献の

**誰一人取り残さない持続可能な 社会の実現を**



いのちが大事 野村 羊子 議員



あり方を検討したい。

**議員** 本事業に対するニーズは増えている。事業を拡大するべきではないかと考へる。

**都市整備部長** 事業の拡大については、社会情勢や市民ニーズ等を考慮しながら進めたいと考へている。

**議員** 誰一人取り残さない社会の実現を理念とした持続可能な開発目標であるSDGsについて本市の今後の取り組みを伺う。

**企画部長** SDGsの視点を持って第4次基本計画第2次改定等に取り組み、市民への啓発に努めるとともに、具体的施策とSDGsとの関連性について見える化を図っていきたい。

**議員** 学生が集い、高齢者が交流する場として子ども食堂等の取り組みは分かりやすく、利用しやすい。食事をベースにした居場所づくり支援の方向性を伺う。

**市長** 支援を実施する団体の自主的な活動を尊重し、

より効果的な支援施策の実施を検討していく。

**議員** 中央ジャンクションに係る換気所への窒素酸化物等の除塵装置と、トンネル内部に設置される換気ファンによる騒音、振動等への対策について市民への説明を行ったか。

**外郭環状道路等広域まちづくり担当部長** 除塵装置の設置については事業者より「対応の方針」に基づき検討中と聞く。最新技術を活用した施設となるよう事業者に求めていく。換気ファンについては周辺環境に影響を及ぼさない構造とするとともに、市民への丁寧な説明を事業者に求めていく。

**基金のあり方を見直し 景気変動に備えよ**



無所属 半田 伸明 議員



**議員** 本市は財政調整基金の残高の目標額を、市税収入の5%プラス20億円としている。臨時財政対策債の活用ができなくなった現在、リーマン・ショック級の危機が発生した場合を考へると、目標額を高くする必要があるのではないかと考へる。

**企画部長** 以前は市税収入の5%が目標額だったが、リーマン・ショック後の市

税収入減を踏まえ20億円をプラスした。リーマン・ショックと同等の市税収入減となっても、2年程度は財政運営を維持できる考へた。

**議員** 同等のショックが発生したら、3年もたないということだ。更に大きなショックが発生したら、経常経費が支出できなくなる危険があり、本心に心配である。基金には借金を減らす

**三鷹の魅力を上向き市民目線の 市政の実現を**



都民ファーストの会 山田さこみ 議員



ための減債基金もある。減債基金設立について伺う。

**企画部長** 今の本市の状況では、減債基金を設置する

**議員** 都の補助制度を活用し、病児保育の利用予約をインターネットでできるシステム等を構築すべきだ。

**市長** 当該補助制度の活用も含め、病児保育の利便性向上に向け検討を進める。

**議員** 屋内原則禁煙の実効性を高めるため、都の補助金を活用し、換気設備を備えたコンテナ型喫煙所などを整備してはどうか。

**健康福祉部長** 更なる公衆喫煙所の整備は、全庁的な検討課題と認識している。

**議員** 本市の教育用コンピュータ・すくすくひろば等を日曜日にも開館させることについて所見を伺う。

**市長** 当該施設における職員体制等の課題がある。今後十分協議し市民ニーズに応えられるよう検討する。

**議員** 現在当該施設における一時預かりの登録については利用者にも施設側にも負担がかかっている。当該事業の登録の仕組みの改善が必要だ。所見を伺う。

**子ども政策部長** 子どもの安全・安心を第一に考へて

差し迫った必要性は、あまり感じていない。基金全体としての残高について、意識していきたい。

ユーターは、94人に1台と全国平均を下回っている。授業展開に応じて必要な時に1人で1台利用できる環境の実現を推進すべきだ。

**教育部長** ICTは有効なツールであるため、環境整備等の充実を図っていく。

**議員** 井の頭恩賜公園が東京2020ライブサイトに選ばれた。本市も独自のシティドレッシングを行い、機運醸成を図るべきだ。

**スポーツと文化部長** 沿道の景観等に配慮しつつ、実施について検討をしたい。

**子育て家庭の潜在的ニーズを 把握し対応に努めよ**



つなぐ三鷹の会 成田ちひろ 議員



**議員** 子ども家庭支援センター・すくすくひろば等を日曜日にも開館させることについて所見を伺う。

**市長** 当該施設における職員体制等の課題がある。今後十分協議し市民ニーズに応えられるよう検討する。

**議員** 現在当該施設における一時預かりの登録については利用者にも施設側にも負担がかかっている。当該事業の登録の仕組みの改善が必要だ。所見を伺う。

**子ども政策部長** 子どもの安全・安心を第一に考へて

の対応であるが、引き続き利便性の向上に向けよりよい仕組みを検討していく。

**議員** 一時預かり事業に対する市民の潜在的ニーズは高い。当該事業に係るニーズ把握について伺う。

**子ども政策部長** 当該事業については利用人数・時間等の集計を行っているが、利用目的については利用抑制につながる懸念もあることから集計していない。5年に一度実施する子育て支援ニーズ調査により、傾向を把握していきたい。